

日レセ連携手順

日医特定健診ソフト側の作業

健診機関情報メンテナンス画面で「日医レセプトソフトと連携する」で「はい」にチェックし、必要事項を設定します。

IPアドレス：日レセサーバの IP アドレス（例：192.168.1.11）

ポート番号：日レセサーバ上の PostgreSQL のサービスポート（通常は 5432）

データベース名：日レセデータベース名（通常は orca）

プロトコル：3（TCP/IP 接続）

ユーザ ID：PostgreSQL での日レセデータベースの owner ユーザ名（通常は orca）

パスワード：同上 パスワード（例：orca123）

日医特定健診ソフトの使用端末の IP アドレスを調べておきます。（例：192.168.1.5）

※IP アドレスは固定が望ましいです。

日レセサーバでの作業

jma-receipt のセットアップにより追加された PostgreSQL の orca ユーザにパスワードを設定します。ここではパスワードを orca123 として以下のように設定しますが、実際には別のパスワードを設定して下さい。（特定健診ソフト側設定もそのパスワードにします）

```
# sudo -u postgres psql template1
template1=# ALTER USER orca WITH PASSWORD 'orca123';
ALTER ROLE
template1=# \q
```

続いて特定健診ソフトから接続できるように/etc/postgresql/8.1/main/postgresql.conf と/etc/postgresql/8.1/main/pg_hba.conf を gedit 等のエディタで次のページのように書き換えて下さい。

```
# gedit /etc/postgresql/8.1/main/postgresql.conf
```

```
#-----  
# FILE LOCATIONS  
# CONNECTIONS AND AUTHENTICATION  
#-----  
# - Connection Settings -  
  
listen_addresses = '*' #シャープを取り外して 'localhost'を'*'に変更  
                        # comma-separated list of addresses;  
                        # defaults to 'localhost', '*' = all  
  
port = 5432  
max_connections = 100  
# note: increasing max_connections costs ~400 bytes of shared memory per  
/etc/postgresql/8.1/main/postgresql.conf
```

```
# gedit /etc/postgresql/8.1/main/pg_hba.conf
```

```
# Database administrative login by UNIX sockets  
local    all             postgres            ident sameuser  
# TYPE  DATABASE  USER  CIDR-ADDRESS  METHOD  
#次の1行を追加（特定健診ソフト側のIPが 192.168.1.5 の場合）  
host     orca       orca    192.168.1.5/32    password  
#複数台の場合は、上の行をIPを変えて繰り返します。多い場合は、  
#マスクビット長の調整でアドレス範囲を表現してもよいです。  
  
# "local" is for Unix domain socket connections only  
local    all             all              ident sameuser  
# IPv4 local connections:  
host     all          all           127.0.0.1/32      md5  
/etc/postgresql/8.1/main/pg_hba.conf
```

最後に設定を反映させるために PostgreSQL を再起動します。

```
# /etc/init.d/postgresql-8.1 restart
```